

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 5 部門第 2 区分
【発行日】平成 25 年 8 月 15 日 (2013.8.15)

【公開番号】特開 2012-154369 (P2012-154369A)
【公開日】平成 24 年 8 月 16 日 (2012.8.16)
【年通号数】公開・登録公報 2012-032
【出願番号】特願 2011-11984 (P2011-11984)
【国際特許分類】

F 1 6 J 15/08 (2006.01)

【F I】

F 1 6 J 15/08 E
F 1 6 J 15/08 J

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 6 月 27 日 (2013.6.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

周方向の開口が形成された断面略 C 字状の環状の外環と、この外環の内側に嵌装された環状の内環とから構成され、部材間に装着された状態で上下方向に押圧されることで部材間をシールする環状のメタルガasket であって、

前記内環は、その断面において、

前記外環の内側面の上側と当接する上側角部と、

前記外環の内側面の下側と当接する下側角部と、

前記上側角部と下側角部との間に位置するように、該内環の内周側に形成された内周側角部と、

前記上側角部と下側角部との間に位置するように、該内環の外周側に形成された外周側角部と、を備えた断面多角形状に形成されるとともに、

前記上側角部と、前記内周側角部および外周側角部との間、並びに前記下側角部と、前記内周側角部および外周側角部との間には、内角が 180° よりも大きい屈曲部が各々形成されていることを特徴とするメタルガasket。

【請求項 2】

前記内環の断面が、上下方向に線対称形状となるように形成されていることを特徴とする請求項 1 に記載のメタルガasket。

【請求項 3】

前記上側角部と、前記上側角部と内周側角部との間に形成された前記屈曲部との間、

前記上側角部と、前記上側角部と外周側角部との間に形成された前記屈曲部との間、

前記下側角部と、前記下側角部と内周側角部との間に形成された前記屈曲部との間、

前記下側角部と、前記下側角部と外周側角部との間に形成された前記屈曲部との間、には、内角が 180° よりも小さい第 2 の屈曲部が形成されていることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のメタルガasket。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0029

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 9 】

また、上記発明において、
前記上側角部と、前記上側角部と内周側角部との間に形成された前記屈曲部との間、
前記上側角部と、前記上側角部と外周側角部との間に形成された前記屈曲部との間、
前記下側角部と、前記下側角部と内周側角部との間に形成された前記屈曲部との間、
前記下側角部と、前記下側角部と外周側角部との間に形成された前記屈曲部との間、に
は、内角が 180° よりも小さい第2の屈曲部が形成されていることを特徴とする。